

2024 年 5 月 14 日

報道関係各位

日本テクノ株式会社

【河村隆一さん出演】日本テクノテレビ CM
「電気の聖者－電気の未来が、見えてくる。－」篇
5 月 18 日(土)よりオンエア開始



電気に関する総合サービスを提供する日本テクノ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:馬本英一)では、2024 年 5 月 18 日(土)より、企業テレビ CM「電気の聖者－電気の未来が、見えてくる。－」篇を全国で順次オンエアします。

CM には、当社イメージキャラクターの河村隆一さんが出演、書き下ろしの CM ソングも提供いただきました。また CM の最後には、電気主任技術者の求人情報もお伝えしております。

▶映像はこちらからご覧いただけます。

<https://eqm.page.link/47LB>

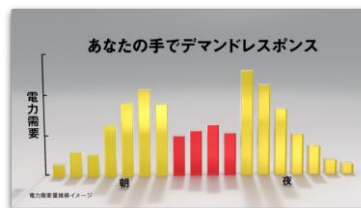
■CM 概要

タイトル:「電気の聖者－電気の未来が、見えてくる。－」篇(15 秒)

出演・音楽:河村隆一(かわむら・りゅういち)

CM ソング:「ずっと側に」

【ムービーカット】



【テレビ CM】

放送エリア: 静岡・関東・鳥取・島根・宮崎・北海道・長野・広島・福岡・佐賀・新潟・中京・石川・青森・岩手・秋田・福井・岡山・香川・山口・愛媛・高知・大分・鹿児島・関西・徳島・宮城・山形・沖縄・富山・福島・山梨・長崎・熊本(放送開始予定順)

放送予定: 2024 年 5 月 18 日(土)～6 月 27 日(木) 全国順次放送

▶スケジュール表(PDF)はこちらからご確認ください。

<https://www.n-techno.co.jp/shared/pdf/recruit/schedule202405.pdf>

【Web サイト上での公開先】

日本テクノ特設ページ:「電気の未来が、見えてくる。」

<https://www.n-techno.co.jp/recruit/tv-cm.html>

CM 本編をはじめ、特設ページでしか視聴できない CM ソング「ずっと側に」のフルバージョンを公開しています。

YouTube: <https://youtu.be/ZRNPhjCjZHM>

■出演者プロフィール

河村 隆一 さん



CM には、日本テクノイメージキャラクターの河村隆一さんが出演します。あわせて CM ソングとして書き下ろし曲「ずっと側に」を提供いただきました。

【河村隆一さんと日本テクノの出会い】

LUNA SEA のヴォーカリストをはじめ、ソロのミュージシャン、小説家、俳優、音楽プロデューサーなど、多才なアーティストとして活躍する河村さん。日本テクノとの出会いは、当社が協賛していたゴルフ大会で代表取締役社長の馬本英一が同じパーティーになったこと。LUNA SEA のヴォーカリストとしてのイメージが強い河村さんですが、ソロ活動ではノーマイク・ノースピーカーのオペラ形式によるライブを実施するなど、持続可能な社会の実現に向け、アーティストの立場から挑戦を続けています。当社では、2012 年 12 月より河村さんをイメージキャラクターとして起用。これまでも社歌をはじめ、省エネの達人『企業編』(BS テレビ東京)テーマソング、自社 CM ソングなど多くの楽曲を提供いただいています。

※省エネの達人『企業編』(BS テレビ東京)は 2010 年より放送を開始し、2017 年 6 月 28 日(水)をもって番組を終了しています。

河村さんのイメージキャラクターとしての活動は下記 Web サイトにてご覧いただけます。

<https://www.n-techno.co.jp/company/rk/>

■テレビ CM「電気の聖者－電気の未来が、見えてくる。－」篇について

電気の聖者・河村隆一が見据える電気の未来とは……

電力の安定供給と持続可能な社会の実現をめざす日本テクノが
伝えたい思いを表現したテレビ CM

日本テクノでは、無理のない範囲での節電をお願いする「下げ DR(以下、デマンドレスポンス)」と、太陽光をはじめとする再生可能エネルギー(以下、再エネ)の供給が過剰となり、再エネ由来の電力が余る時間帯に電気を積極的にご使用いただく「上げ DR」の活動を推奨しています。本 CM では、この活動の概要をわかりやすくお伝えしています。

——CM の舞台は夕暮れの街。

電気の聖者となった河村隆一さんが遠くビル群を見つめています。そこに手をかざすと、時の進行とともに街の灯りがビル群から、わたしたちの暮らす家々へと移っていきます。その眼差しは、電気の未来を見据え「自らの手で電気をコントロールする」聖者そのもの。

日本テクノが推奨する「DR」により、わたしたち一人ひとりがその行動で電気をつかう場所や時間をシフトし、電気を賢くつかわることができれば、効率のよい資源の活用が可能となります。「DR」は電力の安定供給と持続可能な社会の実現に貢献するもの。CM のラストメッセージとして「電気の未来が、見えてくる。」と語る聖者・河村隆一さんの後ろ姿が、力強くそれを物語っています。

■日本テクノが推奨する DR」について

【DR とは】

電力の需給状況に合わせて、卸電力取引市場(以下、JEPX)の市場価格が安い時間帯(電力が余る時)は電気を積極的に使用し、市場価格が高い時間帯(電力需給ひっ迫時)は使用をできる限り控えていただくことで使用する電気の量を調整することを DR といいます。DR で効率的なピークカットとピークシフトを行うことは、既存の再エネの効率的な活用につながります。また需給ひっ迫の解消に寄与するとともに、非効率な火力発電の焚き増しなどが不要となり、中長期的に効率的な電力システムの構築が期待されます。

【上げ下げ DR】

電気を安定的に供給するには、つくる量(供給)とつかう量(需要)を一致させる「同時同量」が重要です。しかし近年は再エネの導入などにより電源の多様化が進み、その結果、発電量の変動も増大しています。そこでつかう側が電気の使い方をコントロールする DR の重要性が増し

ているのです。

DR には「上げ DR」と「下げ DR」の 2 種類があります。たとえば気温の穏やかな春・秋の日中などは、冷暖房需要が低下する一方で太陽光発電に代表される再エネが JEPX に多く流入するため、電力が余る時間帯が生じる(市場の価格が下がる)ことがあります。その時間帯の電気の使用をあえて増やすことを「上げ DR」と呼びます。一方、厳寒期の暖房や厳暑期の冷房などで電力需要が急増する季節は、電力が不足する時間帯が生じる(市場の価格が上がる)ことがあります。その時間帯の電気の使用を減らすことを「下げ DR」と呼びます。

【日本テクノの DR プロジェクト】

日本テクノでは 2022 年 12 月より、「DR プロジェクト」として電力を供給している全国の高圧需要家のお客さまを対象に、上記の「下げ DR」活動を実施しております。くわえて 2023 年 4 月からは「上げ DR(デマンドレスポンス)」活動を取り入れて、本プロジェクトを継続しております。

DR プロジェクトの詳細は下記 Web サイトにてご覧いただけます。

https://www.n-techno.co.jp/service/dr_project.html

DR の実践方法と、活用事例は下記 Web サイトにてご覧いただけます。

https://www.n-techno.org/?introduce=haw-to_01

■日本テクノの求人情報

日本テクノが運営する電気主任技術者の団体「日本テクノ協力会・日電協」では、電気管理技術者を積極採用中です。電気管理技術者として独立をお考えの方、定年退職後に電験の資格を活かしたいとお考えの方、U ターン・I ターンでの就業をお考えの方などが対象です。

【業務説明会を全国各地で開催中】

業務の具体的な内容や入会までの流れなどをご説明します。また、ご自宅から参加できるオンライン説明会も随時実施。開催日時や説明会内容の確認、お申し込みは下記 Web サイトにて受け付けています。

<https://www.nichidenkyo.jp/recruit/seminar/>

実際に電気管理技術者として働く皆さんに、入会のきっかけや普段の仕事で心がけていることなどを聞いたインタビューを掲載しています。

<https://www.nichidenkyo.jp/recruit/interview/>

その他、キャリア採用や新卒採用も募集中です。詳しくは下記 Web サイトにてご覧いただけます。

<https://www.n-techno.co.jp/recruit/>

【日本テクノ株式会社 会社概要】

本社所在地:東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 53 階

TEL:03-3349-1111(代表) FAX:03-3349-1112

設立:1995 年 4 月 4 日

代表者:代表取締役社長 馬本 英一

総顧客数:約 72,000 件(2024 年 3 月 1 日現在)

従業員数:1,505 名(2024 年 4 月 1 日現在)

事業内容:

トータルエネルギーソリューションサービス

1.キュービクル常時監視システム販売および電力コンサルティング

2.高圧電気設備保安管理・点検業務

3.発電・小売電気事業

4.電気料金自動検針システム(ECO-TENANT)

5.ビジネスマッチング(M&A)に関する仲介、斡旋および支援業務

※各事業の導入実績などは「日本テクノの強みと導入実績」でご確認いただけます。

URL:<https://www.n-techno.co.jp>

【このニュースリリースに関するお問い合わせ、取材申し込み先】

日本テクノ株式会社 広報室

TEL:03-5909-5128

E-mail : info@n-techno.co.jp